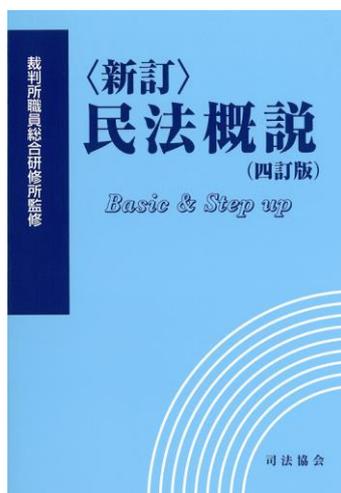


〈新訂〉民法概説(四訂版)



監修	:	裁判所職員総合研修所
定価	:	本体 2,571 円＋税
判型	:	A5 判
ページ数	:	346 ページ(本文 316 ページ)
ISBN	:	978-4-906929-17-7
発行	:	平成 25 年 8 月

内容

平成19年2月に刊行した三訂補訂版に、その後の法令等の改正に伴い、加筆補正を行ったものです。

本書は、裁判所職員総合研修所が初めて民法を学ぼうとする人のために、民法の考え方の基本を解説したもので、基本事例や練習問題を随所に配し、読み進むうちに民事実務上欠くことのできない基礎知識を得られるように工夫されています。初学者にはもちろんのこと、これから民事法を深く掘り下げていこうとする方にも、民事実体法の入門書兼応用基礎編(Basic & Step up)として活用いただくにはうってつけの一冊です。

[目次\(抄\)](#)

目次(抄)

プロローグ	第3章 物権の変動	第3 代物弁済
第1 人と民法のかかわり	第1 総説	第4 供託(弁済供託)
第2 権利義務把握のシステム	第2 法律行為による物権変動	第5 相殺
第3 法律要件, 具体的事実, 法律効果	第3 不動産物権変動と公示	第6 更改
第4 法律関係	第4 動産物権変動と公示	第7 免除
第5 民法という法律	第4章 所有権	第8 混同
第6 私的自治の原則	第1 所有権の性質	第5章 債権債務, 債権関係の移転
第7 物権と債権	第2 所有権の内容	第1 総説
第8 民法典の構成	第3 所有権に基づく物権的請求権	第2 債権譲渡
第9 判例	第4 共有	第3 債務の引受け
第10 利益衡量	第5章 占有権	第4 契約上の地位の移転(契約引受け)
第11 法律学を学ぶ意味	第1 占有制度の存在理由	第6章 多数当事者の債権
第1編 民法総則	第2 占有の意義, 種類	第1 総説
第1章 権利の主体	第3 占有権の承継	第2 可分債権(債務)関係
第1 権利能力	第4 占有の推定力	第3 不可分債権(債務)関係
第2 行為能力	第5 占有権に基づく物権的請求権(占有訴権)	第4 連帯債務
第2章 法律行為	第6章 用益物権	第5 保証債務
第1 法律行為の意義	第1 地上権	第7章 契約総論
第2 法律行為の有効要件	第2 永小作権, 地役権, 入会権	第1 契約の種類
第3 意思の不存在(欠缺), 瑕疵ある意思表示	第7章 担保物権	第2 契約の成立
第4 意思表示の伝達方法	第1 人的担保と物的担保	第3 双務契約の効力
第5 代理	第2 債権者平等の原則と担保物権	第4 第三者のためにする契約
第6 無効, 取消し	第3 担保物権の位置づけ	第5 契約の解除
第7 条件, 期限	第4 抵当権	第8章 契約各論
第3章 期間	第5 担保物権の種類	第1 総説
第1 期間の意義	第6 非典型担保	第2 贈与
第2 期間の計算方法	第3編 債権法	第3 売買
第4章 時効	第1章 債権法概説	第4 消費貸借
第1 時効制度の存在理由	第1 これまで民法総則, 物権法で学んだこと	第5 使用貸借
第2 取得時効	第2 これから債権法で学ぶこと	第6 賃貸借
第3 消滅時効	第3 債権法の構成	第7 雇用
第4 時効の効力	第2章 債権の種類	第8 請負
第5 時効の中断及び停止	第1 与える債務となす債務	第9 委任
第6 時効と除斥期間	第2 特定物債権, 種類債権, 金銭債権, 選択債権	第9章 事務管理, 不当利得
第2編 物権法	第3章 債権の効力	第1 契約以外の債権発生原因
第1章 物権の意義	第1 現実的履行の強制	第10章 不法行為
第2 物権法定主義	第2 債務不履行による損害賠償	第1 総説
第3 物権の種類	第3 債権者代位権	第2 不法行為の一般的成立要件
第4 物権の客体	第4 詐害行為取消権	第3 特殊の不法行為
第2章 物権の一般的効力	第4章 債権の消滅	第4 不法行為の効果
第1 総説	第1 総説	
第2 物権的請求権	第2 弁済	
第3 優先的効力		
		総合練習問題
		資料
		事項索引